

# エピソード

## 閉会式

求麻、藤本発電、十条製紙等各クルーがその実力を伯仲して八月二十八日の最終予選会で百済来Bクルーが三分五十秒で優勝、団体出場資格を獲得しました。

ボートは、水流、風向、風速等の関係で、記録によつて優劣の目安とすることは困難ですが、昨年の荒瀬コースにおける、コンスタントな記録より、二十秒近い程度の向上が見られますので、おそらく本大会四、五位程度への進出は期待しよといと思われま。

高校男子は、八月の県体で八代商業クルーが選ばれ、米子における全国高校大会では準々決勝まで進出、又、艇型のキヤシヤなナツクル艇では、一見無謀とも思える天草遠漕を試みる等、練習に練習を重ねており、八位以内の入賞は、大丈夫という線です。

一般女子は百済来クルーが出場しますが、八位以内入賞が期待されています。又高校女子、八代商業クルーは、かなりの努力がなければ入賞は困難のようす。

以上のほか、ボート競技では、フィックス艇(一般、高校)のレースが行われますが、本県からの出場はありません。

総括的にみて、ボート競技では、総合第八位以内に入つて、天皇杯得点にどれだけ貢献するかは、二十五、六、七日、三日間の出来は如何によるもので、今からの予測は困難でしょう。

閉会式は、九月二十七日午後三時十四分から、熊本城プールにおいて行われま。

閉会式の選手団入場パレードは、閉会式に準じて行われます。

まず選手団が整列を完了すると、大会委員長、日本体育協会、団体総務主事より成績の発表が行われます。

ついで大会々長より表彰状の授与、優勝旗、優勝杯の授与が行われます。

表彰式が終つて、大会々長挨拶、続いて、国旗、大会旗、都道府県旗、競技団体旗の降納。

最後に、寺本知事により、夏季大会の閉会の宣言が行われ、四日間にわたつて展開された夏季大会の幕が閉じられることとなります。

(県国体事務局)

## 当日売りの入場券

夏季大会では、二日目から当日売りの入場券を会場入口で発売します。

一般	一〇〇円
高校生	五〇円
中学生	四〇円
小学生	四〇円

## 観覧のみなさんへのお願い

▼閉会式は、熊本城プールで行われますが、入場の方は、定められた時刻に、なるべく早目に御入場下さい。又、定められた座席に順序よく、お着席下さい。座席の数には制限があります。が、定数以上の入場券は発行していませんので、先を争われなくても、座席だけは充分に坐れます。

▼当日発売の入場券は二日目からで、第一日目は発売しませんから、あらかじめ御了承下さい。

▼プールサイドには定められた役員、報道関係者、監督、選手以外ははいれませんからご協力下さい。

▼熊本の選手に対してだけの応援でなく、優秀な記録、勝者には大いに拍手を送りましょう。たとえ敗れた場合でも、好ゲームを演じた選手には惜しみなく拍手を送つて下さい。

▼国旗の掲揚、国歌の斉唱は、起立、脱帽して注目いたしましょう。選手はスタート台に立つたら非

(県国体事務局)

## <国体シリーズ>

# 選手たちへ 心のサービスを。。。



いよいよ国体が今月と来月、熊本県下の各会場で開催されることになりました。

二万人近い選手役員監督の方々を迎えて晴れの熊本国体はなほなほしくフタをあける準備は、ほとんどでき上つたように思われます。

狭かつた競技場も広々とひろげられ、いろいろの設備もみちがえするようにきれいに出来上つています。百九十万熊本県民の総意をおつめた健民運動は、日一日と盛り上りをみせ、街頭には歓迎のアーチがたちならび、旅館も増築改築が進んでいます。

数十年に一回といわれる国体の準備は、着々と進んでいるのですが、一方心の準備はどうでしょうか？ 又これからの国体選手を迎える心構えは……

### ★ 国体成功の鍵は

#### 心のサービスから

今迄十四回の国体が東京はじめ各地で開かれたのですが、〇〇県の国体は非常によかつた、といわれる内容を考えてみますと、勿論施設や演技の上で、立派に運営されたということもありますが、大半は、受け入れ側の精神的なサービスが徹底してゆきとどいたという場合の方が多いうです。例えば富山国体にしても施設が特別によく整つていたということよりも、富山県の人が、素朴な中にも、本当にシツクリと他県の選手にとけこみ、真心のこもつた、かゆい所に手のとどく

ようなサービス、心の準備が出来ていたからといえましよう。こうした事を考えあわせると、私共熊本県の場合、これから先の一番大きな問題は、国体選手を迎える心構えを早くとのえて、真心から迎えることを知つていないと満足なサービスは出来ません。

### ■ 国体にくる人

私達が国体にくる人達を、どんなに温かく親身になつて迎えようとしても、相手の人がどんなお客さんであるかということを知つていないと満足なサービスは出来ません。

個人の家に人を招く場合、今日のお客さんが男性であるか女性であるか、老人であるか子供連れであるか、大人数であるか、一人であるか等によつて、もてなし方が違ふのと同様です。相手を知つておくことは何事によらず大切なことです。

では国体で熊本に来る人は、普通の観光客等と比べてどう違うかとい、ますと

#### 1. 非常に疲れている

私達が、特急のはやぶさ号に乗つて、東京に行つたとしますと、熊本を出発して十九時間すると、東京駅にすべりこむことが出来ます。ところが国体の臨時列車で来る選手は、東京から三十七時間もかかつて熊本に到着致します。

まして国体は、全国から集まるわけですから、北海道からくる選手は、相当な日数をかけて、はるばる熊本へ到着するわけですね。い、かえりませんと、列車にゆられて熊本に着いた時はクタクタに疲れている人達で、神経がイライラしている人も沢山あることでしょう。

気分的にも相当まいっている人もあるはずす。

#### 2. 気苦労が多い

運動の選手は、もともと身体の丈夫な人が多いのですが、国体に臨むにあつては、地元で数度の予選や決勝の場に出場し、しかも強化合宿訓練に努めたりして出発前から精神的にも、肉体的にも苦勞をかかかかっているのです。

それが長い旅行を続けて、大方が一度も来たことのない見知らぬ土地熊本に着くのですから、大変な気苦労をすることになります。皆様もご経験があらましようが、旅先でやるべのないこと程、心淋しく、気苦労をすることはありません。

全く薬でもつかみたい気持ちになつて居るのです。しかもそれぞれの人が郷土の大きな榮譽になつて、晴れの競技に臨むのです。一人一人がプライドを持って勝ちたいという意欲に燃えています。

このプライドを傷つたりすること、は、選手が一番いたでとなるわけです。

#### 3. 団体行動をとる

国体の競技種目は夏秋とも数多くありますが、中には団体競技もあり個人個人の技を競う個人競技もあります。しかし競技の場をはなれますと、宿舎の中、バスの中、街頭を散歩する時は大体において団体行動をとることが多いのです。普通の観光客ですと、一人で見たい所に行つたり、好きな時間に自由に行動するわけですが、国体に来る人達は、あくまでも競技が主体であつて、時間的にも制約をうけるし、その場その場でお互いによそと比較して批判しあうことが多くなりま。